

令和6年度

川崎市立柘形中学校

教育課程説明会
3年



日時：令和6年4月23日（火）13:05~13:30

場所：多目的室

1. 学校長挨拶
2. 令和6年度の教育課程と評価について
3. 質疑

枳形中の学びについて

○「気づき・考え・行動できる」生徒の育成

枳形中学校では創立当初より JRC に加盟し、その活動目標である「気づき・考え・行動する」を合い言葉にしてきました。そして、21 世紀の今こそ、この言葉の目指すところが求められていると考え、学校生活のあらゆる場面で「気づき・考え・行動する」を意識した学びを実現しようと努めています。さまざまな活動場面では、教員の指示で早く進めるよりも生徒自らの気づきや声かけによって行動を起こす機会を大切に、教科学習でも単なる知識の詰め込みではなく、自ら気づき・考え・判断して行動できる力を育てる学習をめざしています。また、昨年度の校内研修から、今年度は「一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝える指導の工夫」をサブテーマに掲げ、始業式や入学式でも大津校長から「気づく力をつける」「失敗を恐れない」というポイントを生徒全体に伝え、教職員もその認識を共有し、生徒たちの自己肯定感を高める指導を目指しています。

○「エネルギー環境学習」をはじめとする総合的な学習 ～ SDGs を意識して…

「エネルギー環境」の学習として、大企業から NPO 法人まで 12 ほどの企業による専門性の高いワークショップを毎年開催し、それを軸に環境や社会への見方・考え方を育てています。この取り組みは市内外からも高く評価されており、これまで環境大臣表彰を始めとする様々な賞を受賞し、昨年度も日本電気協会（電気新聞）主催の「第 14 回エネルギー教育賞」で中学校の部の最優秀賞を受賞しています。また、「福祉・ボランティア学習」では「一人ひとりのボランティア（ひとボラ）」を通して「誰かのために行動することの楽しさ」を生徒に実感してもらいたいと考えています。今年度はさらに、「キャリア在り方生き方教育」の視点や、SDGs の視点を深める教育活動として「見つけよう私の SDGs」をテーマにした学習活動を計画しています。また、このような取組が評価され、令和 3 年度に「かわさき SDGs パートナー」に認定されました。

○自習時間を最小化し、「授業」を大切に

単純に知識を伝達するというよりも、他者との関わりの中で様々な視点に気づいたり深く考えたりする授業の機会を大切にしています。そのためには一つひとつの授業時間が重要になるので、年間を通してほぼ自習時間を作らないように毎週授業調整を行い、毎週末発行の学年通信でお知らせしています。

○ちいさな気づきを生かす「きめ細かな情報共有と連携」

生徒一人ひとりが力を伸ばしていける環境作りや、学校内で生じる問題についての早期対応を徹底するために、学年会や主任会を週間の時間割に組み込んで頻繁に行っています。教員間で日々の情報を共有し、特別支援的な視点からの対応を検討することで、生徒がより良い学校生活を送れるよう努めています。生徒について教員が密に連携を取れるのは、比較的小規模な学校だからこそその「強み」とも言えます。

○OG I GA 端末を活用した学習

令和 2 年度より始まった G I GA スクール構想により、生徒一人ひとりに端末が配付されました。本校におきましても研修を進めながら、子供たちのために活用しているところです。現状においては、授業での調べ学習や発表等に使用しており、個別に学習を進められるツールとして活用しています。

令和6年度の教育課程

1. 時数（週あたり）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

2. 令和6年度の校内研究主題

『気づき、考え、行動する生徒の育成』

～一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝え合う指導の工夫～

◎令和6年度の校内研究主題

教科	教科主任	研究テーマ（教科目標）
国語	三浦 寿莉	気づき・考え・表現する力を高める生徒の育成
社会	市川 心	気づき・考え・表現する力を育てる社会科学習指導の研究
数学	南 維儀	数学的な見方・考え方をはたらかせ、学び続ける力の育成
理科	清水 亨	自然の事物・現象について問題を解決する目的意識をもって科学的に問題を追究しながら【気づき】、獲得した知識・技能を問題解決のために活用できる生徒の育成【考え・行動】
音楽	鈴木 桃子	題材で育成を目指す資質・能力を明確にした、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
美術	北潟 美波	見る・考える・表現する力の育成 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～
保健体育	小原 侑大	体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心をもち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成
技術・家庭	田中 伸英 川崎 祐子	気づき、考え、表現、行動する力の育成 ～生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせた実践的・体験的な授業を通じて～
英語	福元 隆之	英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～

3. 基礎・基本の定着と発展・補充にも対応できる学力保障に向けて

① 毎週の時間割調整によって授業時数を有効に活用

- ・学力保障の取組の一つとして、本校では自習時間をつくらないように毎週時間割を調整しています。急な予定変更があっても日常的に授業変更で対応するので、教科担任がつけないことによる自習の時間はほとんど発生しません。

② 1年生英語で少人数制授業の実施。

- ・少人数は1クラスを出席番号で2つに分けて、半数ずつで授業を行う。学習内容(課題)やテスト前の復習、単元のまとめ等の授業では合同で授業を行う(T.T)こともある。

③ 保健体育でTT(チームティーチング)の授業を実施

- ・1・2年生については2クラス同時展開で行う。クラス単位または男女別で授業展開し、3名の教員が指導する。
- ・3年生については2クラス合同で行う。種目別個人選択で授業展開し、2種目に分かれて種目によってTTにて指導する。

④ 基礎学力の定着と生徒への手だて

- ・基礎学力の定着のため、「B」規準への到達のために個々の生徒への手だてを尽くす。

→学習相談や長期休業中等に補習や補充のための学習会を実施する。

→授業やテストのユニバーサルデザイン化を進める。テストはルビ付きに。

※他に、川崎市教育委員会「地域の寺子屋事業」の一環として、まなてら運営委員会が、本校(定期テスト前)、新川町会会館(水・金曜日)、長尾こども文化センター(月曜日)を会場に学習支援を行っており、多くの本校生徒が参加しています。

⑤ 支援教育の充実(支援教育コーディネーターを中心に主任会でも定期的に検討)

- ・通常の学級の中にいる支援が必要な生徒に対して「取り出し授業」「入り込み授業」を実施。
- ・学習面やコミュニケーションの課題など、様々な課題に対して随時相談を受け付けています。

(まずは担任へご相談ください。)

4. 総合的な学習の時間

①目標「気づき、考え、行動する」を主題として、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、以下の資質・能力を育成する。

気づく 探究的な学習の課程において、課題の発見に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、そこにある良さや工夫に気づき、課題解決への意欲を高める。

考える 探究的な学習を通じ、課題を解決するために広い視野を持って筋道を立て、考える力を身に付ける。

行動する 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

② 「見つけよう私のSDG'S ~気づき・考え・行動できる私を育てよう~」

○「環境」「福祉」「キャリア、他」等の学習を通して、SDGs(持続可能な開発目標)と自らの生活のつながりを意識し、大きな視点を持ちながら自己の課題を追究する力を育てる。

○ガイダンスでSDGsの存在を意識させ、それが自分の生活や具体的な行動目標とどうつながるのか、年間の学習を通して考えていく。→「Think Globally Act Locally」の実践へ

○学習を通して考えた自分の行動目標を（その行事のワークシートの記入欄などで）蓄積し、年間の振り返りに生かす。まとめでは、行動目標から「My SDGs」意識できるようにする。

③時間数：1年は50時間（週1時間＋前後期15時間）、2・3年は70時間（週2時間）

- (1) 2・3年：火曜日の6校時・金曜日の5校時を総合とし、原則的にはこの時間で実施するが、他の時間や他の曜日にまとめ取りする場合は、振替授業をする。
- (2) 1年：火曜日の6校時を総合とし、さらに他の時間や他の曜日に前後期15時間まとめ取りする。

④総合的な学習の時間 3年間を見通した学習内容

	キャリア学習	福祉学習	環境学習	学年行事	
1年	21世紀に求められる力 4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	柞形中の環境学習 1時間	My SDGs設定 1時間	
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	ワークショップガイ①・当日2 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間	
	進路学習 5時間		まとも学習の準備 3時間	●修学旅行の発表会 2時間	
			フォーラム(まとも学習)クラス①・ブロック① 2時間	自然教室(事前7 事後3) 10時間	
				情報モラル 1時間	
	1年計 11時間	1年計 10時間	1年計 9時間	1年計 15時間	45時間
2年	21世紀に求められる力 7時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	ワークショップガイ①・当日2 3時間	My SDGs設定 1時間	
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	まとも学習の準備 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間	
	職業調べ③・進路学習⑥ 9時間	赤ちゃんふれあい体験② 2時間	フォーラム(まとも学習)クラス①・ブロック① 2時間	●修学旅行の発表会 2時間	
				校外学習・職業体験6(事前3 事後3) 12時間	
				修学旅行に向けて 4時間	
	2年計 18時間	2年計 12時間	2年計 8時間	2年計 20時間	58時間
3年	21世紀に求められる力 4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	ワークショップガイ①・当日2 3時間	My SDGs設定 1時間	
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	まとも学習の準備 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間	
	進路学習 12時間	認知症サポーター(特別時間割) 1時間	フォーラム(まとも学習)クラス①・ブロック① 2時間	●修学旅行の発表会 2時間	
		命の授業(特別時間割) 2時間		修学旅行(事前6 事後4) 10時間	
				薬物乱用防止教室(特別時間割) 1時間	
	3年計 18時間	3年計 13時間	3年計 8時間	3年計 15時間	54時間
	1～3年 キャリア教育計 47時間	1～3年 福祉学習計 35時間	1～3年 環境学習計 25時間	1～3年 学年行事計 50時間	157時間

○「21世紀に求められる力」の学習では、エナジード社の教材を活用し、変化の激しい時代の中で、実際に自分から行動を起こせる力を養うことを目指す。

○学年行事等でも「気づき・考え・行動する」を切り口に、自己の在り方生き方を探究する学びとなるよう意識付けを行う。

○エネルギー環境学習の特徴

- ・4月のガイダンスで、総合的な学習の主題とともにエネルギー環境学習のテーマを提示し、1年間をかけてこのテーマを追求していくことを説明。
- ・まとめは「わかったことをまとめる」だけでなく、環境学習のテーマについて自分自身や身近な人や次の新入生に、環境への行動を広げる提言を行う形とする。（伝える相手を想定し、テーマについての知識を伝え

ると共に、具体的な行動へ移すことを発信できるような形式にする。)

⑤目標達成のために

- 総合的な学習の時間をはじめ、教科、特別活動などあらゆる場が「気づき・考え・行動する」生徒を育てる機会になる。各担当教員が教科とのつながりを意識して教科横断的に指導する。
- 指導者の意識と姿勢の共通理解…、生徒が「気づき、考え、行動する」ことを促すような指導をめざす。(教員の指示で速く進めるより、生徒が気づき、考えるチャンスを確保)
- 行事などの目標に、「気づき、考え、行動する」の趣旨を生かす。気づき・考えた時に、どのような行動に結びつくのかを目指す生徒の具体的な姿を想定する。
- 行事などの振り返りやワークシートに「気づき、考え、行動する」を意識できる質問を設ける。
- リーダーだけでなく、どの生徒にも「気づき、考え、行動する」場面があるよう配慮する。
- 振り返り用紙の質問項目を共通化し行事や学習を通してどんなことを学び、どんな力が身についたのかを各自が言語化して記録・蓄積できるような振り返りシートにする。
- 日常的に生徒の目に入る場所に総合的な学習の目標を掲示
- 総合のファイルを活用し、成果を3年間蓄積して、自分の学びを振り返るようにする。

⑥評価 通知票の「総合的な学習の時間」の欄に所見を記入する。

※生徒は各学年で作成する振り返り用紙に取り組み状況、感想等を自己評価・まとめとして記入する。

5. 週時程・最終下校・日課時程について

年間予定は学校 HP に最新のを掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

【週時程】

	月	火	水	木	金
1	学活			道徳	
2					
3					
4					
5					総合(2・3年)
6		総合			

【最終下校時刻】

4月1日	～	9月18日	18:00
9月19日	～	9月29日	17:45
9月30日	～	10月9日	17:30
10月10日	～	10月21日	17:15
10月22日	～	11月4日	17:00
11月5日	～	1月21日	16:45
1月22日	～	2月5日	17:00
2月6日	～	2月20日	17:15
2月21日	～	3月7日	17:30
3月8日	～	3月25日	17:45
3月26日	～	3月31日	18:00

令和6年度

日課時程表

川崎市立柞形中学校 R.6.4.3.現在

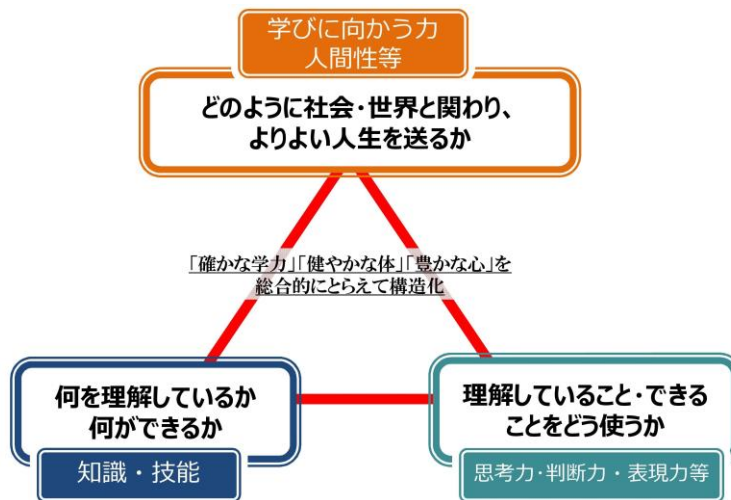
集会S時程		S時程		給食時程	平常時程		集会時程	
開始	終了	開始	終了		開始	終了	開始	終了
8:25 体育館に整列		8:25 教室で着席		生徒登校	8:25 教室で着席		8:25 体育館に整列	
集会	～ 8:45	8:25	～ 8:35	朝学活	8:25	～ 8:35	集会	～ 8:45
8:50	～ 9:35	8:40	～ 9:25	1校時	8:40	～ 9:30	8:50	～ 9:40
9:45	～ 10:30	9:35	～ 10:20	2校時	9:40	～ 10:30	9:50	～ 10:40
10:40	～ 11:25	10:30	～ 11:15	3校時	10:40	～ 11:30	10:50	～ 11:40
11:35	～ 12:20	11:25	～ 12:10	4校時	11:40	～ 12:30	11:50	～ 12:40
12:20	～ 13:00	12:10	～ 12:50	給食	12:30	～ 13:10	12:40	～ 13:20
13:00	～ 13:20	12:50	～ 13:10	昼休み	13:10	～ 13:30	13:20	～ 13:40
13:25	～ 14:10	13:15	～ 14:00	5校時	13:35	～ 14:25	13:45	～ 14:35
14:20	～ 15:05	14:10	～ 14:55	6校時	14:35	～ 15:25	14:45	～ 15:35
⑤14:15～14:25 ⑥15:10～15:20	⑤14:05～14:15 ⑥15:00～15:10	清掃なしで学活	⑤14:30～14:40 ⑥15:30～15:40	⑤14:40～14:50 ⑥15:40～15:50				
⑤14:15～14:30～14:40 ⑥15:10～15:25～15:35	⑤14:05～14:20～14:35 ⑥15:00～15:15～15:25	清掃&学活	⑤14:30～14:45～14:55 ⑥15:30～15:45～15:55	⑤14:40～14:55～15:05 ⑥15:40～15:55～16:05				
朝会あり45分授業	S時程=45分授業	⑤=5時間の日 ⑥=6時間の日	50分授業	集会あり50分 (1校時以後10分繰下げ)				
弁当持参日(昼食終了後20分繰上げ)								
12:25	～ 12:40	12:15	～ 12:30	昼食(弁当)	12:35	～ 12:50	12:45	～ 13:00
12:40	～ 13:00	12:30	～ 12:50	昼休み	12:50	～ 13:10	13:00	～ 13:20
13:05	～ 13:50	12:55	～ 13:40	5校時	13:15	～ 14:05	13:25	～ 14:15
14:00	～ 14:45	13:50	～ 14:35	6校時	14:15	～ 15:05	14:25	～ 15:15
⑤13:55～14:05 ⑥14:50～15:00	⑤13:45～13:55 ⑥14:40～14:50	清掃なしで学活	⑤14:10～14:20 ⑥15:10～15:20	⑤14:20～14:30 ⑥15:20～15:30				
⑤13:55～14:10～14:20 ⑥14:50～15:05～15:15	⑤13:45～14:00～14:10 ⑥14:40～14:55～15:05	清掃&学活	⑤14:10～14:25～14:35 ⑥15:10～15:25～15:35	⑤14:20～14:35～14:45 ⑥15:20～15:35～15:45				

観点別学習評価について

令和3年度から始まった、新学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科等の目標や内容が整理されました。併せて、観点別学習状況の評価の観点についても、この資質・能力の三つの柱に基づく「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示されました。

資質・能力の三つの柱

- ・知識及び技能（何を理解しているか、何ができるか）
- ・思考力・判断力・表現力等（理解していること・できることをどう使うか）
- ・学びに向かう力、人間性等（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）



学習評価の観点

知識・技能	○個別の知識及び技能の習得状況について評価します。 ○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。
思考・判断・表現	○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。
主体的に学習に取り組む態度	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について思考錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。

観点別学習状況の評価から評定への総括の流れ

各教科の学習評価は、学習状況を分析に捉える「観点別学習状況の評価」と、これらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領にさだめる目標に準拠した評価として実施するものとされています。※次ページ参照

<中学校>

【観点別学習状況の評価】

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A[○]

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C[○]

一層努力を要すると判断されるもの：C

A[○]=5点, A=4点, B=3点, C[○]=2点, C=1点とする。

組合せの代表例 (合計値)	評定と規準
A [○] A [○] A [○] (15) A [○] A [○] A (14)	5 十分満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの (15点～14点)
A [○] A A (13) A A A (12) A A B (11)	4 十分満足できると判断されるもの (13点～11点)
A B B (10) B B B (9) B B C [○] (8)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点～8点)
B C [○] C [○] (7) C [○] C [○] C [○] (6) C [○] C [○] C (5)	2 努力を要すると判断されるもの (7点～5点)
C [○] C C (4) C C C (3)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点～3点)

教科学習案内・

年間指導計画

教科ごとの学習目標、費用化の観点と評価方法、具体的な家庭学習の方法が記載されています。参考にしてください。

なお、年間指導計画は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

令和6年度 第3学年 国語科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
【評価方法】 発言 ワークシートの記述 小テスト テスト	【評価方法】 発言 ワークシートの記述 スピーチ 作文 テスト	【評価方法】 発言 観察 ワークシートの記述

3. 具体的な家庭学習の方法

漢字ワークを活用し、漢字の学習を日常的に行うようにしましょう。

様々なジャンルの本を読み、読む力や想像する力・考える力を高めましょう。

授業で扱うワークシートや教材を振り返り、自分の考えを深めるようにしましょう。また、必要に応じて自分で調べたことや考えたことをワークシート等にまとめるようにしましょう。

4. 第3学年 年間指導計画案

	題材名	題材目標		
4月	世界はうつくしいと	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	書写（毛筆・硬筆）・音読・1分間スピーチを通年で行います。	
	握手	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。		
	学びて時に之を習ふ—「論語」から	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。		
	熟語の読み方	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
	作られた「物語」を超えて	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。		
	漢字に親しもう2	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
	文法への扉1	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。		
	俳句の可能性 俳句を味わう	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。		
	和語・漢語・外来語	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		
	挨拶—原爆の写真 よせて	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。		
	5月	弁論文		◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 ◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
		故郷		◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
6月	慣用句・ことわざ・故事 成語	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		
	漢字の造語力	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
7月	人工知能との未来 人間と人工知能と創造 性	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。		
	漢字に親しもう4	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
8月	初恋	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。		
	君待つと—万葉・古 今・新古今	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。		
9月	夏草—「おくの細道」 から	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。		
	漢字のまとめ	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
10月	わたしを束ねないで	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。		
	文法への扉2	◎単語の類別について理解するとともに、単語の活用や助詞、助動詞などの働きについて理解することができる。		
11月	漢字に親しもう6	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
	誰かの代わりに	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。		
12月	学習を振り返ろう	◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。		

1. 第3学年の学習目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
【評価方法】 ・定期テスト ・ノート、ワークシートへの記入	【評価方法】 ・ノート、ワークシートへの記入 ・授業中の発言内容 ・定期テスト	【評価方法】 ・ノート、ワークシートへの記入 ・授業中の取り組み ・授業中の発言内容 ・定期テスト

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・授業前に教科書を読み、これから行う学習内容を知る。
- ・ニュースを積極的に見て、世の中に起きていることを知り、家族の話題にしよう。
- ・プリントの、や()の中は全部記入しましょう。空白にメモを書き込みましょう。
- ・教科書を「？」をつけながら読む。(教科書は事実を簡略にしているため説明し切れていません。)
- ・授業中に一緒に考え、なるべく発言(声に出すか心の中で)しましょう。
- ・わからないことや確認したいことがあったら、(相談できる時間に)近くの友達に聞くか、授業後に先生に聞きましょう。
- ・プリントは、順番にノートに貼り、「まとめ」をなるべく早く記入しましょう。

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標
	4	・第二次世界大戦と日本の敗戦	○第二次世界大戦の開戦から終結までについてとらえ、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。
		○現代の日本と世界 ・日本の民主化と冷戦 ・世界の多極化と日本	○第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について知る。
	5	・冷戦の終結とこれからの日本	○ベトナム戦争や中東戦争などの世界の動きを背景に、日本の高度経済成長が石油危機により終焉するまでの過程について、理解する。
			○冷戦終結後の変動する世界と日本の動きをとらえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。
	6	◎公民 ○私たちの暮らしと現代社会 ・私たちが生きる現代社会 ・現代につながる伝統と文化 ・私たちがつくるこれからの社会	○我が国の伝統と文化に関心をもち、文化の継承と創造の意義に気づく。
		○個人を尊重する日本国憲法 ・日本国憲法の成り立ちと国民主権	○人間は本来「社会的存在」であることに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、ルールやきまりの意義について考える。
	7・8	・憲法が保障する基本的人権	○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることについての理解を深める。
		・私たちが平和主義	○基本的人権を守るという視点から、個人の尊重や法の意義についての理解を深める。 ○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味を考える。
後期	9	○私たちの暮らしと民主政治 ・民主政治と日本の政治 ・三権分立のしくみと私たちの政治参加	○日本国憲法が掲げる平和主義の考え方の背景とその意義を理解し、我が国の防衛と安全の問題について考える。
			○国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや、選挙が果たす役割を理解する。
	10	・地方自治と住民の参加	○国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、国会(立法)、内閣(行政)、裁判所(司法)による三権分立の原則があることを理解する。
		○私たちの暮らしと経済 ・消費生活と経済活動 ・企業の生産のしくみと労働	○地方自治の基本的な考え方や、地方自治体による政治のしくみを理解する。
			○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義を理解する。
	11	・市場のしくみとはたらき	○社会生活において働くことの意義や、働く人に保障された権利について理解する。
		・金融のしくみと財政の役割	○価格のはたらきに注目して、市場経済の基本的な考え方を理解する。
	12	○安心して豊かに暮らせる社会 ・暮らしを支える社会保障	○国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方自治体が果たしている役割や、租税の役割について考える。
		・これからの日本経済の課題	○社会保障制度のもつ意義と役割について理解する。
	1	○国際社会に生きる私たち ・国際社会の平和を旨として	○国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、社会保障の充実など、財政として国や地方自治体が果たしている役割について考える。
		・国際社会が抱える課題と私たち	○今後の日本経済が抱える課題をどのように解決していけばよいのかについて、意欲的に追究する。
	2	・持続可能な未来の社会へ	○国際協調のために、国際連合をはじめとする国際機構などが果たす役割や取り組みが大切であることをふまえ、国際社会における我が国の役割について考える。 ○現在の国際社会が抱えるさまざまな課題の解決のために、経済的、技術的な協力などが大切なことを理解する。
			○日本国憲法の平和主義に関する理解を深め、我が国の国際貢献のあり方について考えるとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。 ○持続可能な社会を形成するという観点から、わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、自分の考えをまとめることができる。

令和6年度 第3学年 数学科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

知識および技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数の平方根, 多項式と二次方程式, 図形の相似, 円周角と中心角の関係, 三平方の定理, 関数 $y=ax^2$, 標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し, 数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, その特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 標本と母集団の関係に着目し, 母集団の傾向を推定し判断したり, 調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識および技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根, 多項式と二次方程式, 図形の相似, 円周角と中心角の関係, 三平方の定理, 関数 $y=ax^2$, 標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	数の範囲に着目し, 数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, その特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 標本と母集団の関係に着目し, 母集団の傾向を推定し判断したり, 調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしたりしている。
<p>【評価方法】・定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元テスト・授業内プリント・小テスト 		<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内プリント 授業内レポート

3. 具体的な家庭学習の方法

- 自宅に帰宅したら, 授業に行った内容を確認する。 ・授業で取り組んだ問題を家で自分の力で解いてみる。
- 問題集を解いてみる。 ・教科書を見直して, 大事なところに色ペンでチェック, 気づいたことを教科書に書き込む。
- 間違えたところはそのままにせず, 必ず解き直す。テスト前にはその間違えたところを重点的に復習する。
- 様々な問題を説明できるようにする。

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	章	節・小節
前期	4	1章	1節 多項式の乗法と除法 ①単項式と多項式の乗法, 除法 ②多項式の乗法 ③乗法の公式
	5	式の計算	2節 因数分解 ①因数分解 ②乗法の公式を利用する因数分解
			3節 式の活用 ①式の活用
			1節 平方根 ①2乗するとaになる数 ②有理数と無理数
	6	平方根	2節 平方根の計算 ①平方根の乗法, 除法 ②平方根の加法, 減法 ③平方根のいろいろな計算
			3節 平方根の活用 ①平方根の活用 ②近似値と有効数字
			3章
	7	2次方程式	2節 2次方程式の活用 ①2次方程式の活用
			4章
	9	ax ² 関数	2節 関数 $y = ax^2$ の活用 ①関数 $y = ax^2$ の活用
	10		3節 いろいろな関数 ①いろいろな関数

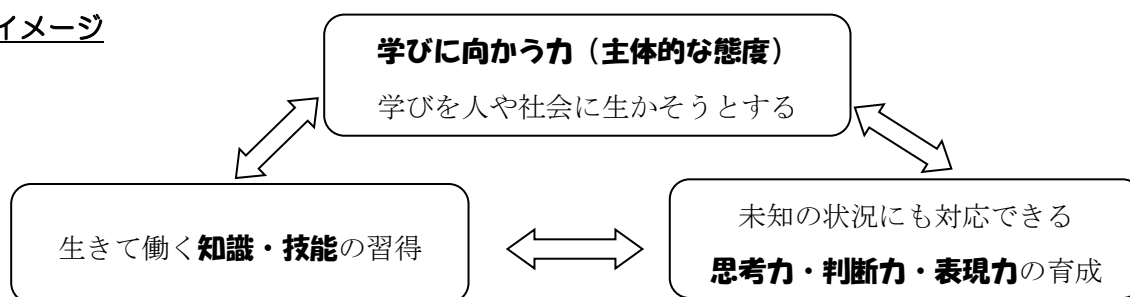
学期	月	章	節・小節
後	10	5章	1節 相似な図形 ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③三角形の相似条件と証明
			2節 平行線と線分の比 ①三角形と比 ②中点連結定理 ③平行線と線分の比
	11	相似な図形	3節 相似な図形の面積の比 ①相似な図形の面積 ②相似な立体の表面積と体積
			4節 相似な図形の活用 ①相似な図形の活用
	12	6章	1節 円周角の定理 ①円周角の定理 ②円周角の定理の逆
			2節 円周角の定理の活用 ①円周角の定理の活用
	1	7章の定理	1節 三平方の定理 ①三平方の定理 ②三平方の定理の逆
			2節 三平方の定理の活用 ①平面図形への活用 ②空間図形への活用
	2	8章	1節 標本調査 ①母集団と標本 ②母集団の数量の推定
			2節 標本調査の活用 ①標本調査の活用
	3	本調査標	

1. 学習目標

(1) 知識および技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な金須・実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察・実験などを行い科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象を科学的に解決するために必要な資質能力を育成する。

イメージ



2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現する力が身につけている	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、学んだことを生活に還元し、人と関わりながら粘り強く問題解決しようとする態度が見られる
【評価方法】 ・定期テスト、小テストなど ・観察・実験レポート (グラフや作図、考察含む) ・観察・実験の手順や取り組み ・実験器具の取り扱い・技能	【評価方法】 ・定期テスト、小テストなど ・レポートの記載内容 ・グラフや図の読み取り、作成	【評価方法】 ・課題への取り組み方 (問題集、夏休み課題、ノート等) ・課題の提出期限を守る姿勢 ・観察・実験への取り組み (粘り強さ、協力、サポート) ・授業参加 (発言・発表)

3. 具体的な家庭学習の方法

- 教科書、ノートを用いて重要語句の確認をする。(音読、マーカー、ノートにまとめるなど)
- 観察・実験レポートを見直し、観察・実験を行うときの注意事項、ポイントなどを整理してまとめる。
- ネットの活用も1つ視野に入れ、クイズ形式での反復学習、NHKforSchoolやYoutube動画等の視覚的なものを補充教材として活用し、理解を深める。
- 実際に問題を解く。(問題集を活用。授業でも使用するため毎回持ってくるのが望ましいですが、授業中にすべての問題を行うことはできませんので、家庭の学習用としてもご使用ください。)

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	指導内容・学習内容	
前期	4	オリエンテーション エネルギー 運動とエネルギー	
	5	<ul style="list-style-type: none"> • どのようなときに運動がはじまるのだろうか • 力のつり合い • 物体の運動 • 仕事とエネルギー • 多様なエネルギーとその移り変わり • エネルギー資源とその利用 • 未来の生活 スマートコミュニティ <p>【ねらい】日常生活との関連をはかりながら、物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解させる。また、エネルギーにはいろいろな種類があり、それらが移り変わってもその総量が保存されることを理解させる。</p>	
	6	生命 生命の連続性	
	7	<ul style="list-style-type: none"> • つながる生命 • 生物の成長とふえ方 • 遺伝の規則性と遺伝子 • 江戸時代のバイオテクノロジー 	
	8	【ねらい】生物の成長や生殖を細胞のレベルで捉えさせ、親から子へ形質が伝わることによって、生命の連続性が保たれていることを理解させるとともに、生命を尊重する態度を育てる。	
	9	物質 化学変化とイオン	
	10	<ul style="list-style-type: none"> • 水素と酸素から電気をつくる • 水溶液とイオン • 酸・アルカリと塩 • 光で化学変化を進める「光触媒」 	
	10	【ねらい】水溶液の電気伝導性や電気分解の実験を行い、その実験結果から、イオンの概念を形成させる。また、電池、酸・アルカリの性質や中和の実験の結果をイオンのモデルと結びつけて考えることのできる科学的思考力を身につけさせる。	
	後期	11	地球 宇宙の中の地球
		11	<ul style="list-style-type: none"> • 地球はどのような天体なのだろうか • 地球とその外側の世界 • 太陽と恒星の動き • 宇宙をめぐる物質 • 月と金星の動きと見え方
12		【ねらい】太陽系の一員としての地球の特徴を理解させ、その運動による日周運動、年周運動、季節の変化を理解させる。また、太陽系外の宇宙について認識し、時間と空間の概念を習得させる。	
1		環境 自然と人間	
1	<ul style="list-style-type: none"> • 山と海に広がる森 • 自然界のつり合い • 人間と環境 • 自然が人間の生活におよぼす影響 • 科学技術と人間 • 科学技術の利用と環境保全 • 地球とともに生きる 		
2	【ねらい】自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係やつり合いについて理解させるとともに、自然と人間とのかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。		

令和5年度 第3学年 音楽科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価方法】 発言 観察 記述内容 演奏の聴取 作品	【評価方法】 発言 観察 記述内容	【評価方法】 発言 観察 記述内容

3. 具体的な家庭学習の方法

音や音楽、様々な音楽や文化に興味をもち、観たり聴いたりして親しみましょう。その際、気づいたことと、感じたことがどのように関係しているかについて考え、家族や友達とよさや美しさについて意見を共有してみましょう

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	題材名 教材	題材目標	
前期	4 5	日本歌曲の美しさ を味わおう 花 花の街	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	
		音楽の特徴や背景を理解しよう 「ブルタバ」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を理解する技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲や演奏に対する評価と根拠について音楽を評価しよさや美しさを味わって聴く。	
		ポピュラー音楽 魅力を味わおう ポピュラー音楽	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他芸術との関わりを理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え音楽表現の共通性や固有性について音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。	
	8 9	豊かな響きで表現を工夫しよう 合唱コンクール 自由曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きと音楽の関わりについて理解し創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	
		後期	10	音の重なりを感じてアンサンブルをつくろう Let's Create!
	11		伝統音楽の魅力を味わおう 能「敦盛」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲や演奏に対する評価や根拠について音楽を評価しよさや美しさを味わって聴く。
12	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう 帰れソレントへ		・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。	
1	音階の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう My Melody		・音階の特徴及び音のつながりかたの特徴について理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。	
2	ハーモニーを感じ取り、表現の工夫をしよう		・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわ	

	3	決意	しい音楽表現を創意工夫する。
--	---	----	----------------

令和6年度 第3学年 美術科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図、造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生みだし、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしりことができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図、造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生みだし、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらの感情にもたらす効果を理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 材料や用具などの生かし方などを身に着け、意図に応じて工夫して表している。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な攻勢を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。

3. 具体的な家庭学習の方法

- 制作のための材料や用具の準備
- 鑑賞や制作のための資料集めを主体的にする。

- ・著作物や他人の制作した作品へのマナーの理解
- ・学習した内容に関連した情報番組・教育テレビ等の視聴

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	④	【立体・表現】 空想の世界 —本を読んで—	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや本を読んで本の内容をイメージする。 ・自分の読む経験から、新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。 	ミクストメディア
	⑤			
	⑥	【鑑賞】 刻まれた祈りの形 —仏像の種類と形—	<ul style="list-style-type: none"> ・仏像にも様残な種類があり、時代や作者によって特徴が異なることに興味を持つ。 ・それぞれの仏像から感じ取ったよさや美しさについて話し合い、理解を深める。 	教科書 クロムブック ファイル 等
後期	⑦	【絵画・表現】 漫画表現の豊かさ	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画に見られる多様な表現方法と、その組み合わせの効果について目を向ける。 ・漫画と過去の日本美術との共通にも注目して、感じたことを話し合う。 	教科書 ファイル パン
	⑧			
	⑨			
	⑩	【デザイン・表現】 魅力が伝わるパッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を彩るパッケージデザインに関心を持つ。 ・多くの人に製品の魅力が伝わるように、パッケージの形体や装飾の構想を練る。 ・制作の順序などを総合的に考え、見通しを持って表現しようとする。 ・様々な視点を活かして作品の造形的な美しさなどを味わい、美術の働きを理解する。 	教科書 ファイル 糊 カッター 等
	⑪			
⑫				
①				
②				
③				

令和6年度 第3学年 保健体育科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>体育 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割をなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>体育 ○各領域の ・特性や成り立ちを理解している。 ・技術の名称や行い方理解している。 ・関連して高まる体力を高めようとしている。 ・伝統的な考え方を理解している。 ・表現の仕方を理解している。 ・健康・安全に留意している。 ・スポーツの多様性を理解している。 ・運動やスポーツの意義を理解している。 ・運動やスポーツの効果と学び方を理解している。 ・基本的な技能を身に付けることなどを理解している。</p> <p>保健 ○健康と環境と健康な生活と病気の予防について、問題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識として身につける。</p>	<p>体育 ○課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ○基礎的な知識・技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫している。 ○運動の目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している。 ○課題の発見や解決を通して自己や中間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>保健 ○健康と環境と健康な生活と病気の予防について、課題の解決を目指して科学的に考え、判断し、自らの考えを表そうとする。</p>	<p>体育 ○授業の約束を守っている。 ○積極的に授業に取り組もうとしている。 ○よい演技を認めようとしている。 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ○フェアなプレイを守ろうとしている。 ○相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ○互いのよさを認め合おうとしている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○話し合いに参加しようとしている。 ○最善を尽くして運動をしている。</p> <p>保健 ○健康・安全に気を配っている。 ○健康と環境と健康な生活と病気の予防について関心や意欲を持ち、主体的に学習に取り組もうとする態度を身につける。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>前期・後期の期末テスト</p> <p>活動での見とり</p> <p>技能（ねらいに即した動き）</p> <p>学習ノート・レポート</p>	<p>【評価方法】</p> <p>グループ活動</p> <p>学習ノート・レポート</p> <p>活動での見とり</p>	<p>【評価方法】</p> <p>活動での見とり（準備・片付けも含む）</p> <p>学習ノート・レポート</p>

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・教科書・実技本・保健ノートを復習し、基本的な知識を定着させる。
- ・授業で伝えられたねらいやポイントを理解し、実技ノートに書き写し復習する。
- ・指定された部分のレポート作成。

4. 第3学年 年間指導計画案（教科ごと 任意の形式）

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	保健体育ガイダンス	保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
		体づくり運動 体育理論		
	5	陸上競技	陸上競技・器械運動・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
		器械運動		
		ダンス 保健		
6	バスケットボール	バスケットボール・サッカー・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	サッカー			
	保健			
7	バレーボール	バレーボール・柔道・ソフトボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	柔道			
	ソフトボール			
	保健			
8	バスケットボール	バスケットボール・サッカー・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	サッカー			
	保健			
	バレーボール			
9	バレーボール	バレーボール・柔道・ソフトボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	柔道			
	ソフトボール			
	保健			
10	バスケットボール	バスケットボール・サッカー・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	サッカー			
	保健			
	バレーボール			
11	バレーボール	バレーボール・柔道・ソフトボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	柔道			
	ソフトボール			
	保健			
後期	12	バスケットボール	バスケットボール・サッカー・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
		サッカー 保健		
	1	バレーボール	バレーボール・柔道・ソフトボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
		柔道		
ソフトボール 保健				

令和6年度 第3学年 技術科 保護者用学習案内

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
【評価方法】 筆記試験 作品 作業・実習での見とり	【評価方法】 レポート	【評価方法】 ワークシート レポート

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・ワーク（技術・家庭ノート）を復習し基本的な知識を定着させる
- ・授業で配布されたプリント等を復習する
- ・レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなどして課題を解決しているかどうか大切です。

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	計測・制御システムについて	計測・制御システムの基本的な仕組みを説明できる。	教科書 ワーク PC
	5			
	6			
	7			
後期	9	マインドストーム(レゴプログラム)を用いた実習	安全・適切なプログラムの制作, センサやアクチュエータも含めた動作の確認及びデバッグ等ができる。	マインドス トーム
	10			
	11			
	12			
	1			
2				
3	まとめレポート	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して, 情報の技術を 評価し, 新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を提言できる。	ワークシ ート	

1, 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2, 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
【評価方法】 ・筆記試験 ・作品 ・作業や実習での見取り	【評価方法】 ・レポート	【評価方法】 ・ワークシート ・レポート

3, 具体的な家庭学習の方法

- ・授業内容を振り返り、基本的な知識を定着させる。
- ・授業内で配布されたプリントの復習
- ・レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から家庭生活に関わる問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決しているかどうか大切です。
- ・提出日を守りましょう。

4, 第3学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材	
前期	4	ガイダンス	家庭科の見方・考え方に気づくことができる。	教科書	
	5	・家族・家庭と地域			
	6	<幼児の生活と家族>	<p>・自分の幼児期を振り返りながら、関わりのあった人たちを思い出す。</p> <p>・平均的な乳幼児の体の発達を知り、それに伴う運動機能や生理機能について理解する。</p> <p>・年齢による心の発達の様子を知り、幼児を理解しようとする。</p> <p>・幼児に必要な生活習慣を知り、身につけるための工夫等を考え、表現する。</p> <p>・幼児にとっての遊びの意味を知り、様々な力が育つことを理解する。</p> <p>・幼児とふれあうために、対象年齢や興味関心を考慮しながら手作りの名札を作る。</p> <p>・実際に幼児とふれあい、学習してきたことの相違等に気づき、まとめる。</p> <p>・子供を取り巻く、よりよい環境のための行政や法律を知り、地域としてや中学生としてどのように幼児と関わっていくのかを考え、気づく。</p>	教科書 プリント	
	7	・幼い頃を振り返ろう			
	8	・幼児の体と心の発達			
	9				
	10	・幼児の生活習慣			
	11				
	12	・幼児の生活と遊び			
	1	・幼児との関わり、ふれあい			フェルト
	2				
	3				
		・子供にとっての家族 ・中学生として			

1. 第3学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p>	<p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法などを理解している。</p> <p>・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えをなど簡単な外国語で伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>【話すこと・書くこと】 日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【聞くこと・読むこと】 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や要点などを捉えている。</p>	<p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>・言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている。</p>
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト（インタビューテストなど） 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・パフォーマンステスト（音読、会話、発表など） ・英作文など 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、言語活動への取り組み状況 ・パフォーマンステスト

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・予習 学習する Unit のノート作り 本文、基本文、新出単語の意味調べ
- ・復習 学習した Unit の基本文の構造や日本語訳の確認、教科書の音読など
- ・ルーティンワーク 単語練習や基本文の音読、書き練習など
- ・新出事項の定着 エイゴラボや小テストの解き直しなど

4. 第3学年 年間指導計画案

学期	月	単元名	学習内容	学習目標
前期	4	Unit1	<ul style="list-style-type: none"> 受け身 let/ help +人・もの + 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> 学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 読んだ記事について意見を発表することができる
	5	Unit2	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の「完了」「経験」 	<ul style="list-style-type: none"> 会話からおすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 おすすめの場所について教え合うことができる。
	6	Unit3	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の「継続」、現在完了進行形、It is ~ for 人 + to 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> 文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。
	7	Unit4	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 主格 which, who, that 	<ul style="list-style-type: none"> 投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取ることができる。 読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。
	9 10	Unit5	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 目的格 which, that 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。
後期	11	Unit6	<ul style="list-style-type: none"> 現在分詞や過去分詞の後置修飾、間接疑問文 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 絵にふさわしいせりふを考えて発表することができる。
	12 1	Unit7	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 + to + 動詞の原形 If...の仮定法 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。
		Unit8	<ul style="list-style-type: none"> I wish...の仮定法 	<ul style="list-style-type: none"> 手紙から、書き手の一番伝えたいことを読み取ることができる。 自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。

学校の教育目標

新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健全で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

- (1) 学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人 (知)
- (2) 美しい豊かな心を持ち、思いやりがあり、助け合える人 (情)
- (3) 責任を重んじ、実行力のある人 (意)
- (4) 体力を高め、健康で自分を大切にすること (体)

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

I 確かな学力を身につける教育の推進

- 1 生徒の学習意欲の向上
- 2 基礎・基本的事項の定着
- 3 評価についての研究

II 心の教育の推進

- 1 キャリア在り方生き方教育の推進
- 2 特別支援教育の推進
- 3 命、心の教育の推進

III 健康・安全教育の推進

- 1 教育環境の整備
- 2 健康教育、安全教育の推進

IV 開かれた学校づくりの推進

- 1 家庭・地域と一体化した教育活動
- 2 積極的な情報発信
- 3 小・中・高連携教育の推進

道徳教育の研究主題

互いを認め合い、気づき・考え・行動する生徒の育成

道徳教育の重点目標

「生徒につけたい力」を身につけさせるための指導の充実を図る。

- A- (2) 望ましい生活習慣
- B- (6) 人間愛と思いやりの心
- D- (20) 自然愛、畏敬の念
- C- (3) 正義感・公正・公平
- A- (1) 自主・自立の精神・責任感
- B- (9) 自他の尊重・謙虚な心
- A- (4) 人間の弱さ、生きる喜び
- C- (15) 集団生活の向上・役割と責任
- B- (7) 礼儀の意義の理解
- D- (19) 生命の尊重
- C- (10) 法のまきり

学年の目標

1年	2年	3年	特別支援学級
<ul style="list-style-type: none"> ① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、正しい生活習慣を定着させる。 ② 自ら気づき、考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。 ③ 諸活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援する。 ④ 目標をもちながら学習だけでなく学校生活全般において全力を尽くす生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、基本的な生活習慣を定着させる。 ② 自ら考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。 ③ いろいろな活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎基本を定着させ、自ら学ぼうとする力を育成する。 ② 思いやりのある人間関係を創造するためのコミュニケーション力を養う。 ③ 基本的な生活習慣と食習慣を身に付け、体力を向上させ健康に生きる。 ④ 最高学年としての自覚を持ち、後輩の手本となるような態度を養う 	<p>健康・安全で自立した生活を営むために必要な日常生活習慣を養い、その能力を十分に発揮するため、心身諸機能の調和的発達を図る。</p>

学級経営

教科

国語 気づき・考え・表現する力を高める授業づくり
 社会 気づき・考え・表現する力を育てる社会科学学習指導の研究
 数学 数学的な見方・考え方をはたらかせ、学び続ける力の育成
 理科 身近な事物・現象と、生活のつながり・問題に気づき、先を見通した考えや判断のもと、学びを人や社会に生かそうと表現・行動できる生徒の育成
 音楽 音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動
 美術 見る・考える・表現する力の育成
 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～
 保健 体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成
 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心を持ち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成
 技家 気づき、考え、表現、行動する力の育成
 ～生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせた実践的・体験的な授業を通じて～
 外国語 英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～

総合的な学習の時間

「気づき・考え・行動する」を主題とし、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育む。

特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

道徳の時間

・全教育活動における道徳的教育を補充・深化・統合して、生徒の道徳性の育成を図る。
 ・話し合いの活動を充実させ、資料によって様々な人間の生き方を考えさせ、それへの共感、批判を通して道徳的な物の考え方、感じ方を高め、自ら生き方の自覚を深める。

家庭・地域との連携

- ① 広報活動の充実
 - ・学校便りの充実、学年便りの定期的な発行と充実に努める。
 - ・ホームページの定期的な更新に努める。
- ② 保護者、地域との連携、誠実な対応
 - ・外来者への誠実な対応に心がける。
 - ・学校と家庭との迅速な連携に努め、相互理解を深める。
 - ・地域活動への生徒や教職員の参加を積極的に行う。
- ③ 近隣小学校、高校との連携の工夫と充実
 - ・学校説明会等のいっそうの充実をはかる。
 - ・時期と内容の検討を行う。
 - ・学習ボランティア活用を検討する。
- ④ 学校評価の実施と活用

令和6年度 第3学年 道徳年間指導計画表		道徳年間指導計画表		道徳年間指導計画表	
月	教材名	学習指導要領との関連	主題名	ねらい	
4	1 三十点の金メダル	向上心、個性の伸長	自分らしさの発揮	自分らしさを発揮して能力を伸ばし、前向きに物事に取り組むことで、充実した生き方をしようとする実践意欲を高める。	
	17 二人のエース	友情、信頼	高め合う友情	互いに相手のよさを認め合い、支え合い、競い合い、高め合う友情を育てようとする態度を養う。	
5	9 思い出のオムライス	自主、自律、自由と責任	誠実な心と責任ある態度	正しい判断を選択し行動することに価値があることを理解し、良心的な生き方を選択しようとする判断力を育てる。	
	26 白川郷に魅せられて	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	地域に根付いた文化の継承	伝統を継承するために必要な心持ちについて考え、自分たちが住む地域の伝統を守り続けたいと思う心情を育てる。	
6	30 赤道直下に住むマウンテンゴリラ	自然愛護	自然環境と人類	人間は、偉大な自然の中で生かされていることに気付く、人間と自然との関わりを多面的・多角的に捉え、自然を愛し、守り、共生しながら環境を保全しようとする態度を養う。	
	24 もっとわかり合いたい	国際理解、国際貢献	よりよい国際社会を築く	国際的な視野に立ち、他国を尊重し、違いを理解した上で、世界の平和と人類の発展に貢献するために自分たちは何ができるのかを考えようとする心情を育てる。	
7	10 私たちの夏	友情、信頼	共に成長し合って	異性間においても、相手に対する理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに高め合う関係を築こうとする態度を養う。	
8	34 杉原千蔵の選択	国際理解、国際貢献	世界の平和に貢献する	人間の存在や価値についての理解を深め、世界平和に貢献する行動を自らとるための判断力を育てる。	
9	14 町工場から宇宙へ	真理の探究、創造	理想の追求	困難に負けず、自由な発想と想像力で新しいものを創造しようとする心情を育てる。	
	15 はるかなる生命の物語	感動、畏敬の念	自然に対する畏敬の念	悠久の自然に思いを馳せ、有限な存在としての人間を自覚し、自然への畏怖の念や感動する心情を育てる。	
10	13 電車の中で	思いやり、感謝	温かい心に触れて	思いやりある行動をとるとき心の動きを考え、相手の立場に立って温かく接しようとする心情を育てる。	
	22 どうして？	相互理解、寛容	互いの個性や立場の尊重	それぞれの個性や立場を尊重し、互いの良さを認め謙虚に学び合い、高め合う態度を養う。	
11	19 優介の決意	生命の尊さ	自他の生命の尊重	科学技術や医療の進歩中、生命倫理に関する課題を手がかりに生命の尊さについて考えさせ、自他の生命を尊重する態度を養う。	
	21 未来の日本へデビュー	社会参画、公共の精神	よりよい社会の実現	選挙に参加することを通して、自らの意味を社会に反映させ、よりよい社会の実現に向けて自ら実践することを考えようとする判断力を育てる。	
12	18 領民を愛した名君 上杉鷹山	自主、自律、自由と責任	責任ある誠実な生き方	自主自律した行動には責任を伴うことを理解し、私利私欲を交えずに誠実に生きようとする態度を養う。	
	31 五井先生と太郎	思いやり、感謝	温かい人間愛	思いやりの心の根底には他者への深い理解と共感があることに気付く、他者を真に思いやる人間愛の心情を育てる。	
1	28 礼儀って何	礼儀	場に応じた礼儀	礼儀の意義を理解し、その場に応じた礼儀について話し合い、深い、状況に応じた礼儀を考えられる判断力を育てる。	
	19 二通の手紙	道徳精神、公徳心	社会の秩序と規律を守る	法やきまりの意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よりよい社会をつくらうとする態度を養う。	
1	3 独りを慎む	節度、節制	望ましい生活習慣	節度を守り節制に心掛けることは、気力と活力に満ちあふれた充実した人生を送る上で欠くことのできないものであることに気付く、望ましい生活習慣を身に付けるための実践意欲を高める。	
	11 奮	相互理解、寛容	それぞれの立場の尊重	自分と異なる考えや立場を受け止め、相手の多様な見方、考え方から学びながら、自分に生かし、協働して問題を解決していこうとする判断力を育てる。	
2	16 一冊のノート	家族愛、家庭生活の充実	家族の絆	家族との関わりや、家族の在り方について考えを深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする心情を育てる。	
	35 亡き母へのトランペット	よりよく生きる喜び	気高く、前向きに生きる	生きていく上でつらいことや苦しいことから逃げず、それを克服する力があることを信じ、人間としての誇りや喜びをもって力強く生きていこうとする実践意欲を高める。	

川崎市立枳形中学校
令和6年度特別活動全体計画

※全体計画例
◆学校教育目標 ◆特別活動の重点目標 ◆学校行事
◆各種委員会 ◆学級活動(1)(2)(3)年間時教 等

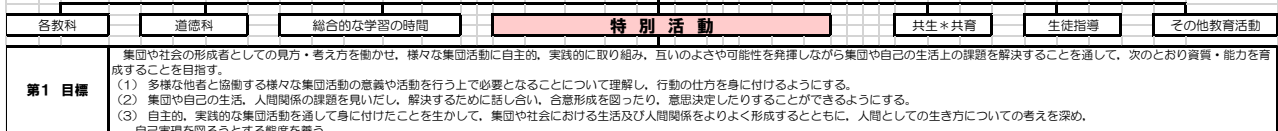
- ◇教育基本法
- ◇学校教育法
- ◇学習指導要領
- ◇かわさき教育プラン

学校教育目標

新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健全で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。
(知)：①学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人
(情)：②美しい豊かな心を持ち、思いやりが助け合いできる人
(意)：③責任を重んじ、実行力のある人
(体)：④体力を高め、健康で自分を大切に人

- 生徒の実態
- 地域の実態
- 保護者の願い
- 教師の願い

枳形中学校としてのキャリア在り方生き方教育



特別活動の重点目標

気づき・考え・行動できる生徒を育成する。

学級活動

目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

内容
(1)学級や学校における生活づくりへの参画
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
ウ 学校における多様な集団の生活の向上
(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成
イ 男女相互の理解と協力
ウ 思春期の不安や悩み等の解決、性的な発達への対応
エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
オ 食育の観点から健康な食生活の形成
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の利用
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
ウ 主体的な進路の選択と将来設計

活動の形 話し合い活動 係活動 集会活動

生徒会活動

目標 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

内容
(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営
生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。
(2)学校行事への協力
学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。
(3)ボランティア活動などの社会参画
地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。

生徒会の組織例
◇生徒総会 ◇生徒評議会(中央委員会等)
◇生徒会役員会(生徒会執行部) ◇各種委員会
◆各種委員会は、毎月定例会を実施する。
以下の委員会を設置し、各学級2名の代表で構成する。
学級・広報・図書・省エネ環境
生活・福祉・保健・視覚賞・給食
◆評議会(代表委員会)は、毎月定例会を実施する。

学校行事

目標 全校又は学年の生徒で協力し、より良い学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

内容
(1)儀式的行事
入学式 始業式 終業式 修了式 卒業式 着任式 離任式等
(2)文化的行事
文化祭 合唱コンクール 学習発表会 合唱祭等
(3)健康安全・体育的行事
健康診断 薬物乱用防止指導 命の授業
避難訓練 防災訓練 体育祭 球技大会等
(4)旅行・集団宿泊的行事
自然教室 東京校外学習 修学旅行等
(5)勤労生・奉仕的行事
職場体験活動 全校美化の行事 福祉体験活動
一人ひとりのボランティア等
◆各行事のねらいを明確にし、全職員が協力で指導、助言する。

学年	1	2	3
(1)学級や学校における生活づくりへの参画	27	26	27
(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	7	5
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	2	2	3

◆学級活動は年間35単位時間を充てる。(月曜1校時)

1 学年 特別活動年間活動計画

4 月目標				
(1) 学級における自己の役割を正しく認識し責任と意欲をもつ。				
(2) 健康で安全な生活態度を考え、自己の能力、適切などを理解し、それを伸ばそうと努めている。				
(3) JRC加盟式等を通して、ボランティア活動の意義を理解し、自発的な参加意欲をもてる。				
月	特別活動に関わる学校行事	日付	学級活動内容	学級活動内容
4	始業式・入学式	4/5	担任自己紹介・学級経営目標など	4/9 前期学級組織作り⑤
	対面式・生徒会オリ	4/8	前期学級組織作り①	4/12 給食事前指導
	学級組織作り	4/8	前期学級組織作り②	
	JRC加盟式	4/9	前期学級組織作り③	
		4/9	前期学級組織作り④	
5 月目標				
(1) 体育祭の練習に積極的に参加し、学級における自己の役割を認識し責任を果たしている。				
5	梨丘祭 体育祭練習開始	5/13	体育祭事前指導?	
	梨丘祭 体育祭	5/25	体育祭終了後の時間(振返は28火にあり)	
6 月目標				
(1) 学級の当面する諸問題の解決に意欲的に取り組んでいる。				
(2) テストの反省を通して、日頃の学習活動を見直し、計画的に取り組む。				
6	前期中間テスト	6/6	学年裁量	
	生徒総会	6/10	学年裁量	
	修学旅行	6/24	学年裁量	
	県総体壮行会			
7、8 月目標				
(1) 前期前半の反省を通して、学級や学校生活の充実や向上を図るため積極的に貢献する				
(2) 健康で安全な生活態度を考え、自ら身につけようと努める。				
(3) 一人ひとりのボランティアにむけて自分の希望を確認し、進んで活動しようとする意志を養い、育てる。				
7 8	県総体ブロック大会	7/2	合唱コン選曲	8/26 提出物・宿題回収?
	夏休み	7/19	学年集会?	
		7/19	夏休みに向けて?	
9 月目標				
(1) 梨丘祭のもつ意義やねらいを理解し、意欲的に参加する。				
(2) エネルギー環境教育講演会への参加を通して、自発的な行動に移すことができる。				
9	市総体	9/20	学年裁量(合唱コン目標作りは9/2月にあり)	
	前期期末テスト			
	生徒会役員選挙			
	エネルギー環境教育講演会			
10 月目標				
(1) 前期の反省を通して、規則正しい生活を送り、健康で安全な生活態度を養う。				
(2) 合唱コンクールの中で男女の相違を正しく認識し、男女相互の理解と協力を努めている。				
(3) 半年の学級活動を振り返り、改めて有意義なクラス活動の運営を考える。				
10	市総体	10/4	後期学級組織作り①	
	梨丘祭 文化祭	10/4	後期学級組織作り②	
	梨丘祭 合唱コンクール	10/11	後期学級組織作り③	
	駅伝壮行会	10/22	学年裁量	
11 月目標				
(1) 梨丘祭反省を通して今後の学級の当面する諸問題の解決や学校行事に取り組む。				
(2) ワークショップを通して、エネルギー環境教育についての意識を深める。				
11	後期中間テスト	11/11	学年裁量	11/25 パネル作成③
	環境ワークショップ	11/18	お礼状・パネル作成①	
12 月目標				
(1) 仲間と協力し、環境整備の充実や向上を図るために意欲的に取り組んでいる。				
(2) 環境フォーラムを通して、1年間学んできたエネルギー環境教育を自分なりにまとめることができる。				
12	環境フォーラム	12/4	学年裁量	12/24 学年裁量
		12/16	学年裁量	12/24 学年集会?
1 月目標				
(1) 自己実現にむけて進路、学習に目を向け、意欲を持って取り組んでいる。				
1	自然教室	1/14	自然教室事前指導?	1/20 自然教室の反省?
				1/24 学年裁量
2 月目標				
(1) 自己の能力、適正などを理解し、それを伸ばそうと努めている。				
(2) 学年・学級で協力して自然教室に取り組み、その中で学年・クラスの協力体制を育て、よい思い出をつくらせる。				
2		2/10	学年裁量	
		2/25	後期生徒総会議案書検討	
3 月目標				
(1) 一年間の反省を行い、卒業後に向けての心構え、準備をする。				
3	生徒総会	3/7	三送会関係	
	三送会	3/10	学年裁量	
	卒業式	3/24	学年裁量	
	球技大会	3/25	学年裁量	
	百人一首大会			
	終了式			

川崎市立柘形中学校 総合的な学習の時間構造

第1の目標（学習指導要領）

①探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 **【知識及び技能】**

②実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 **【思考力・判断力・表現力等】**

③探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 **【学びに向かう力・人間性等】**

柘形中学校 学校教育目標

①学力を高め自ら考え正しい判断ができる人

②美しい豊かな心を持ち思いやりがあり助け合える人

③責任を重んじ実行力のある人

④体力を高め健康で自分を大切にすること



柘形中学校 総合的な学習の時間の目標

「気づき・考え・行動する」を主題として、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、【環境】・【福祉】
【健康】・【キャリア】（学年行事）等についての様々な活動を通して、以下の資質・能力を育成する。

気づく 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、よさや工夫に気づき、人々の努力によって支えられていることに気づく。

考える 探究的な学習を通じ、問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、自らが持っている情報をもとに考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことをまとめ・表現する力を身に付ける。

行動する 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。



全体テーマ
「見つけよう私のSDGs (My SDGs) ～気づき・考え・行動できる私を育てよう～」

探究課題		具体的な資質・能力		
キャリア有り方生き方教育	キャリア学習 他	知識及び技能 他教科及び総合的な探究の時間で習得する知識及び技術が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。	思考力・判断力 表現力等 探究の過程において発揮され、未知の状態において活用できるものとして身に付けられるようにする。	学びに向かう力 人間性等 自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる。
	環境学習			
	福祉学習			



教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力

情報活用能力	言語能力	
探究的な学習の過程においてコンピューターや情報通信ネットワークなど適切かつ効果的に活用して情報を収集・整理・発信するなどの学習活動	①他者と協働して課題を解決しようとする学習活動	②言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動
(情報や情報手段を主体的に選択し、活用できるように配慮する)	活用する 考えるための技法 多面的、多角的に見る・具体化する・抽象化する・構造化する 順序付ける・比較する・分類する・関連付ける・理由付ける 等	

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
・地域や生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。	・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。	・全校指導体制の組織強化を図る。 ・学校図書館やパソコン室の利用 タブレットPCの活用を図る。	・観点別学習状況を把握するための評価規準、評価方法を確立させる。 ・個人内評価を重視する。